

## 子どもたちに本物の芸術文化を

### ドリーム体験！ほんもの講座

指揮者、ピアニストとしても活躍している音楽家の青島広志さんと4人の音楽家を招き、町教育委員会主催の「ドリーム体験！ほんもの講座」が7月8日、仙南公民館で開かれました。

この講座は、子どもたちが第一線で活躍するアーティストの方たちと直接交流し、本物の芸術文化に触れることにより、豊かな感性と創造力を育もうと開かれたもので、当日は町内7小学校の5、6年生と3中学校の1、2年生をはじめ、町民の皆さん約800人が参加しました。



▲第2部オペレッタ「夜だけまほう使い」フィナーレ。

第1部として、モーツァルトの生涯を、いろいろな歌とピアノ曲を交え、お芝居仕立てで紹介。続いて第2部では、青島さん作曲の子どものためのオペレッタ「夜だけまほう使い」が公演されました。

参加した子どもたちは、青島さんのユニークなお話と一流の方たちが奏でる音色に引き込まれ、時が経つのも忘れた様子。“ほんもの”に触れた貴重な時間は、子どもたちに確かな感動を与えました。

もさ、青島さんとピアニストの青島さん（写真左）とピアニストの青島さん（写真下）。



## 町議会臨時会

平成20年第5回町議会臨時会が7月14日に開かれました。

今回の臨時会では、除雪ドーザーと除雪ロータリの2件の財産取得のほか、平成20年度美郷町一般会計補正予算第3号、平成20年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号、平成20年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算2号の計5件について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。

また、美郷町農業委員の推薦についても審議が行われ、田口勝久氏（六郷東根）を議会推薦の委員として推薦することにしました。

## 日頃の訓練の成果を競う

### 平成20年度美郷町消防訓練大会

6月29日、平成20年度美郷町消防大会が雁の里山本公園消防訓練場で行われ、町内14分団から337人の団員が参加しました。競技は「小型ポンプ操法」「規律訓練」の2つの部で行われ、日頃の訓練の成果を競い合いました。（成績は次のとおりです）

なお、両部門の第3位まで入賞した分団は7月19日に開かれた大仙市仙北市美郷町支部消防訓練大会へ出場。健闘しましたが惜しくも全県大会への出場権を逃しました。

#### 【総合の部】

- 第1位 第10分団（仙南地区）
- 第2位 第14分団（仙南地区）
- 第3位 第8分団（六郷地区）

#### 【小型ポンプ操法の部】

- 第1位 第10分団（仙南地区）  
（指揮者＝伊藤芳美、団員＝梅川浩孝、高橋剛、戸嶋賢司）
- 第2位 第14分団（仙南地区）  
（指揮者＝小林予勝、団員＝高橋準、瀬田川誠、照井浩）
- 第3位 第3分団（千畑地区）  
（指揮者＝齊藤民寿、団員＝高橋真也、佐々木和寛、高階充）

#### 【規律訓練の部】

- 第1位 第10分団（仙南地区）
- 第2位 第8分団（六郷地区）
- 第3位 第4分団（千畑地区）



▲規律訓練



▲小型ポンプ操法

## 環境にやさしいまちづくり

### ISO14001定期審査が行われました

町が環境負荷の軽減のために行っているISO14001環境マネジメントシステムの定期審査が7月7日から9日までの3日間行われました。

町では、各庁舎・施設の電気使用量の削減のほか、各課でリサイクル品の活用や廃棄物の削減、地販地消、税の口座振替の推進による収納率の向上など、様々な環境負荷軽減のための取り組みを実施しています。

今回の定期審査では、これらの取り組みや関連する法令の順守状況などが国際規格であるISO14001規格に適合しているかどうかを確認され、不適合は発見されませんでした。地販地消や税の収納率向上のための取り組みが、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の抑制につながる施策であると評価されたほか、いくつかの取り組みは手順など一部に改善の余地があるのではないかと指摘を受けています。



▲町の経営者として環境に対する考え方を説明する松田町長



▲審査終了後の検討会議

### ISO14001とは？

企業や自治体などの組織が自らの活動によって発生する環境負荷を自主的にかつ継続的に減らしていくための経営や仕組みを定めた国際規格です。



## 「教育への想い」

美郷町長 松田知己



▲7月6日、海上自衛隊大湊音楽隊コンサートであいさつする松田町長

梅雨明けから間もない七月某日の今日、蝉が元気に鳴いています。つい先日までは「あゝ鬱陶しい」と思った鳴き声も、梅雨が明けたら一転、夏の情緒として私には心地よく沁みまします。この気持ちの変化、一体何なのか改めて考えてみました。

エアコンがなかった頃、私の家では木陰のある西側の雨戸を「がえつ」と開けて、風を感じることに貴重な涼みでした。しかし梅雨どきは、畳は湿って肌にくっつくし、その状況ではセミの鳴き声は加湿器でした。一方、梅雨が明けると一転そこはパラダイスです。乾いた風がそよそよと入り、横になっても畳はさっぱり。「こだえられねえ」場所でのセミは、涼しさを演出する名脇役でした。

人はいろんな事柄を蓄積し、それぞれの感受性や価値観を形成していきます。あの時のあの経験が、あの気持ち「今」に至っている

のかと思った時、改めて経験とりわけ成長過程での経験や思いがいかにか大切にできるかを実感するところでした。実は、こうした想いが私の教育に対する根っこの部分でもあります。どこの自治体もそうでしょうが、美郷でも自治体としてやるべき当たり前の取り組みはしっかりとさせながら、子供達の記憶に残るような「美郷ならではの」取り組みも重ねてきました。その端緒が中学生の海外研修であり、絵本作家の永田萌先生や音楽家の青島広志先生のスペシャル講座などです。子供達が深い感受性と幅広い価値観を持った大人に成長していくよう、今後でもできるだけこうした機会は設けてまいりたいと考えております。そのため、この度スタートした「ふるさと納税制度」については、その使途を教育に特化させることでまとめさせてもらいました。早速、ご賛同をいただいた方々からご寄附をお受けいたしました。皆様にはこうした想いもご理解いただければと思います。

地域づくりは、最終的には人づくりです。次代を担う子ども達も心豊かな大人に成長した暁には、美郷は今よりもっとすてきな町になる。私はそう信じております。

## 8月のふれあい談話室

8月28日(木) 役場千畑庁舎 1階応接室  
午後5時から午後6時30分  
ご希望のかたは前日までお申し込みください。

問い合わせ

役場(六郷庁舎)総務課 秘書広報班  
☎0187(84)1111

### 移動町長室

町長が毎週火曜日に仙南庁舎、木曜日に千畑庁舎で執務しています。(会議への出席などにより、実施できない場合があります)